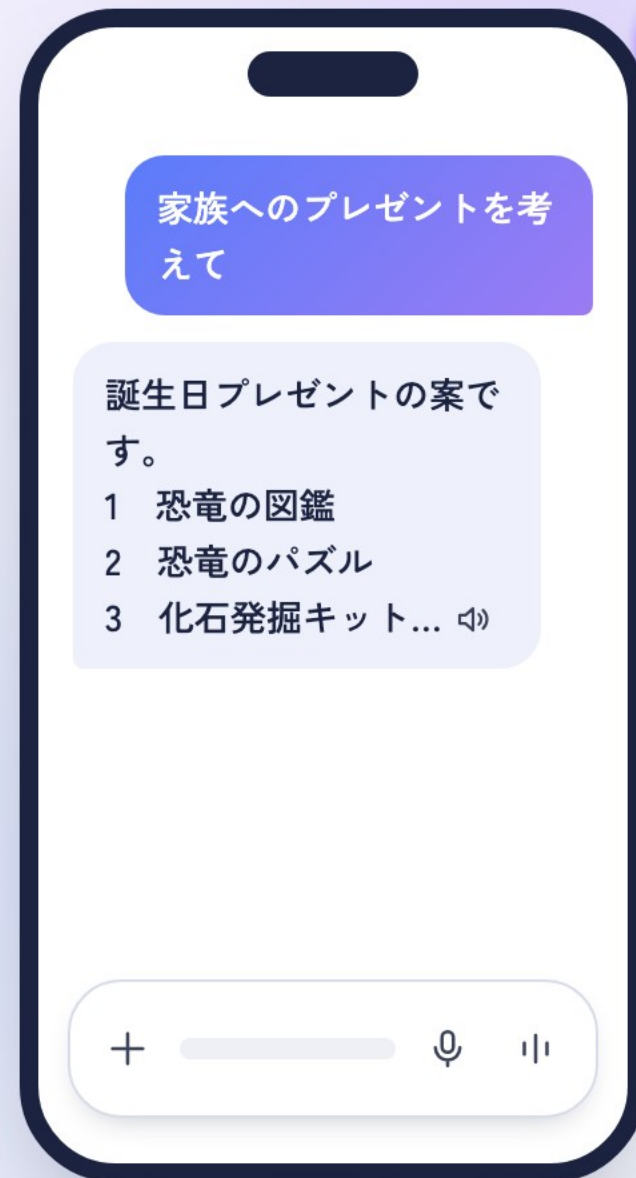


スマホ教室 はじめてのAI 第2回

声で AI と話そう

マイクで話して送り、答えは読み上げで聞く

← 第1回へ戻る



前回、覚えたこと

01 プロンプト

AI に送る指示のことです。質問もお願いも、ぜんぶプロンプトです

02 4つのコツ

だれとして・何をしてほしいか・どんな事情か・どんな形で。ひと言たすと答えが変わります

03 ハルシネーション

AI が、それらしいまちがいを答えることです。大事なことは確かめます

04 今日は、これを声でやります

文字のかわりに声でプロンプトを送ります。コツも同じように使えます

その1 はじめてのAI 全4回

今日は、第2回です

第1回

プロンプトを 送ってみよう

プロンプトという言葉と、
上手な頼み方を学びました

Gemini

今日

第2回

声で AI と話そう

マイクで「音声入力」を
して送り、答えを読み上
げで聞きます

Gemini

第3回

写真を見せて 加工しよう

その場で撮った写真や、ア
ルバムの写真を使います

ChatGPT

第4回

安心して 使いこなそう

Gemini Live で、
AI とおしゃべりします。
答えの確かめ方も学びます

Gemini と ChatGPT

今日も、自分のスマホで実際にやってみます

今日、できるようになること

01 マイクで話して送れる

「音声入力」（いわゆる文字起こし）を、いっしょにやりながら覚えます

02 答えを声で聞ける

「読み上げ」で、答えを声で聞きます

03 違う文字になっても直せる

声のコツと、送る前の直し方を覚えます

04 4つのコツを声で使える

家族へのプレゼントを、声で相談します

02

その2 ここからやります

音声入力で送る

いっしょに、マイクで話して
プロンプトを送ります

1 はじめに

2 音声入力で送る

3 ちがう文字を直す

4 声で相談する

5 安心とまとめ

音声入力

おんせいにゅうりょく voice input

マイクで話すと、声が文字になる入力です

実際には、いわゆる「文字起こし」ですね。入力欄に文字が出るので、確かめてから送れます。
答えは文字で返ってきます。

LINE や検索でも使えます

文字を打つより、ずっと速く入れられます

マイクと波の線は、別のボタン

今日やります



マイク＝音声入力

いわゆる「文字起こし」です。話した声が文字になります。

確かめてから、送信を押して送ります。
答えは文字で返ってきます

第4回でやります



波の線＝Gemini Live

ジェミニ・ライブ。いわゆる「おしゃべりモード」です。

文字にせず、そのまま声で会話します。
答えも声で返ってきます

どちらも、文字を入れる欄の右にあります。今日は左の「マイク」だけを使います



先生のお手本

マイクで、話して送る

1 マイク をタップします

マイクを使ってよいか聞かれたら、使えるように許可します

2 「家族へのプレゼントを考えて」と、ゆっくり話します

スマホを口に近づけて、少し小さめの声で大丈夫です

3 文字になったのを確かめて、送信 をタップします

入力欄の文字を読んでから送ります



やってみよう

マイクで、話して送る

1 マイク をタップします

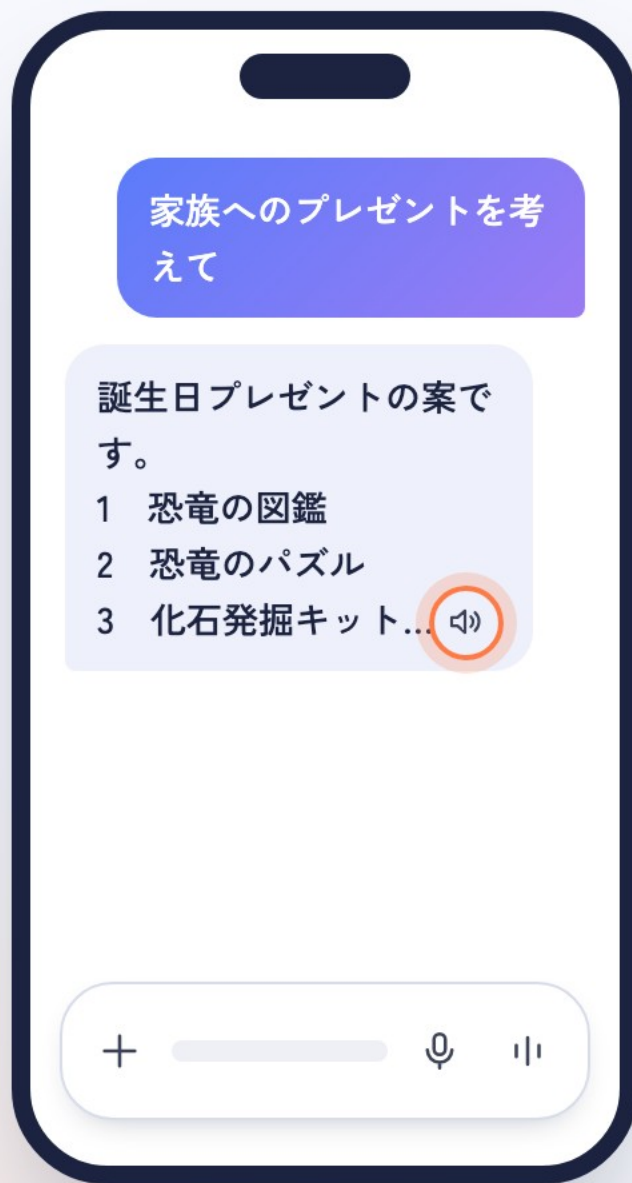
マイクを使ってよいか聞かれたら、使えるように許可します

2 「家族へのプレゼントを考えて」と、ゆっくり話します

スマホを口に近づけて、少し小さめの声で大丈夫です

3 文字になったのを確かめて、送信 をタップします

入力欄の文字を読んでから送ります



その2 いっしょに

答えを、声で聞く

1 返ってきた答えを、下へなぞって読みます

答えは文字で返ってきます

2 答えの横の「読み上げ」 をタップします

答えを声で読んでくれます

3 音量は、小さめにします

隣の人の練習の声とまざらないように

その2 できた？

声で送れた



話した声が、文字になった

少し違っていても大丈夫。次の「その3」で直し方をやります



送ったあと、文字の答えが出た

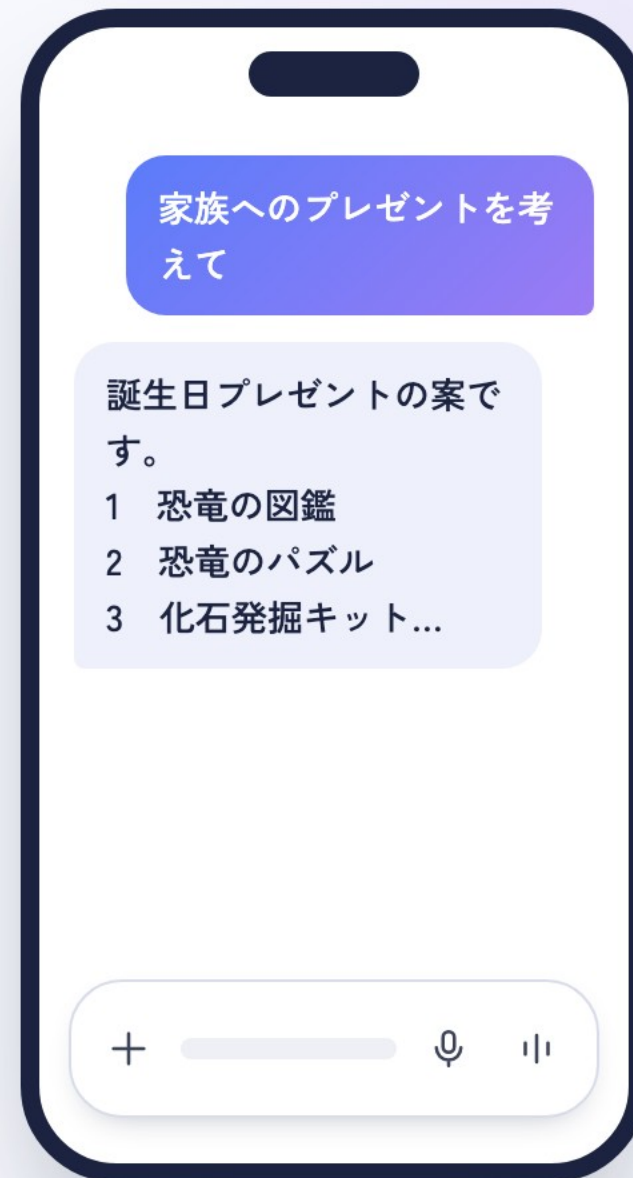


読み上げで、答えを声で聞けた

できなくても大丈夫です



うまくいかない人は、手を挙げてください



03

その3 ここからやります

ちがう文字を直す

わざと早口で話して、
出てきたまちがいを直してみます

1 はじめに

2 音声入力で送る

3 ちがう文字を直す

4 声で相談する

5 安心とまとめ



先生のお手本

わざと、早口で話してみる

- 1 マイク  をタップして、早口で話します**
「誕生日プレゼントを5000円以内で考えて」を、いつもより速く
- 2 まだ送らずに、入力欄の文字を読みます**
数字やことばが、ちがう文字になっていないか見ます
- 3 ちがっていても、あわてなくて大丈夫です**
次のスライドで、いっしょに直します



やってみよう

わざと、早口で話してみる

- 1 マイク  をタップして、早口で話します**
「誕生日プレゼントを5000円以内で考えて」を、いつもより速く
- 2 まだ送らずに、入力欄の文字を読みます**
数字やことばが、ちがう文字になっていないか見ます
- 3 ちがっていても、あわてなくて大丈夫です**
次のスライドで、いっしょに直します



その3 いっしょに

直してから、送る

- 1 ちがうところをタップして、キーボードで直します

1文字だけなら、ここで直すのが早いです

- 2 たくさんちがうときは、全部消して、マイク  で話し直します

今度は、ゆっくり・区切って・数字ははっきり話します

- 3 正しくなったら、送信  をタップします

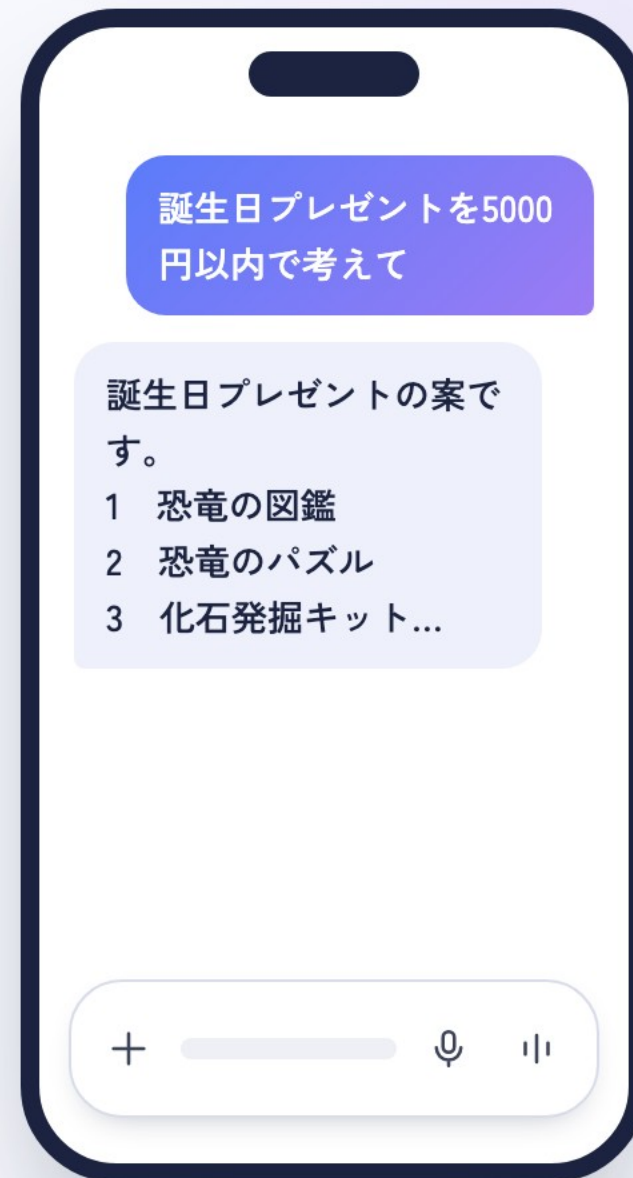
その3 できた？

ちがう文字を直す

- ✓ 送る前に、入力欄の文字を読んだ
- ✓ ちがうところを直すか、話し直せた
まちがいが出なければ、そのまま送って大丈夫



うまくいかない人は、手を挙げてください



04

その4 ここからやります

声で相談する

前回の4つのコツを、
声で1つずつ付け足していきます

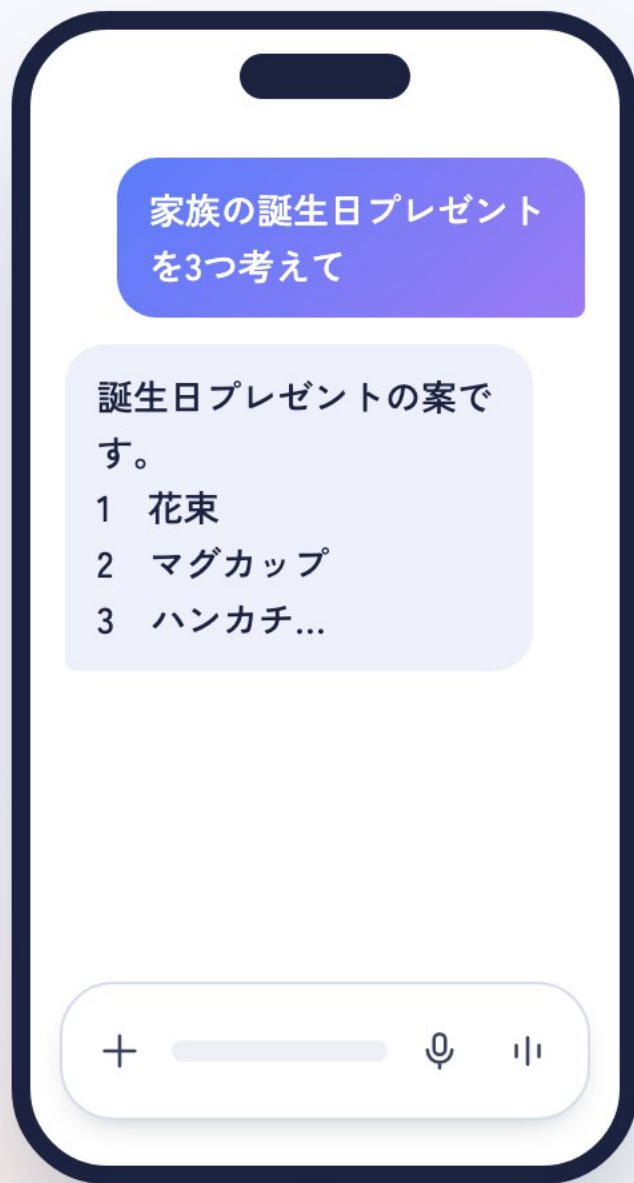
1 はじめに

2 音声入力で送る

3 ちがう文字を直す

4 声で相談する

5 安心とまとめ



先生のお手本

まず、短い一文で送る

- 1 画面の上の「チャットを新規作成」から、新しく始めます

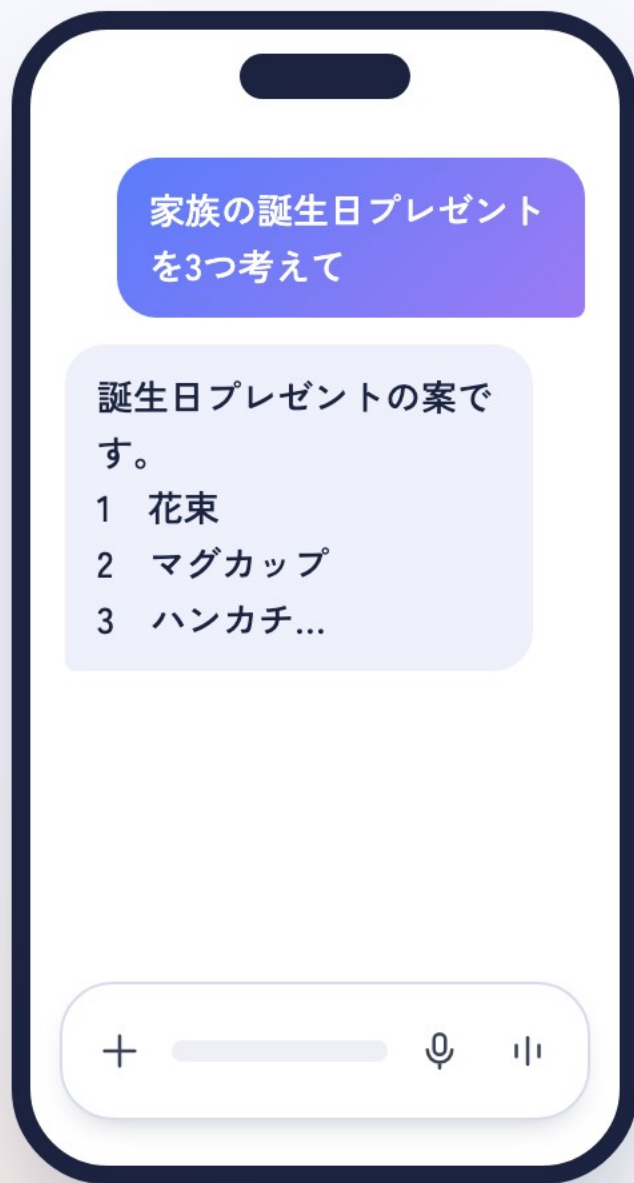
前回やったところです

- 2 マイク  で「家族の誕生日プレゼントを3つ考えて」と話して送ります

「3つ考えて」が、コツ②「何をしてほしいか」です

- 3 返ってきた答えを読みます

だれ向けか分からないので、ふつうの案が返ってきます



やってみよう

まず、短い一文で送る

- 1 画面の上の「チャットを新規作成」から、新しく始めます

前回やったところです

- 2 マイク  で「家族の誕生日プレゼントを3つ考えて」と話して送ります

「3つ考えて」が、コツ②「何をしてほしいか」です

- 3 返ってきた答えを読みます

だれ向けか分からないので、ふつうの案が返ってきます

その4 いっしょに コツ③「どんな事情か」

声で、事情を付け足す

- 1 続けてマイク  を押して、相手のことを話します

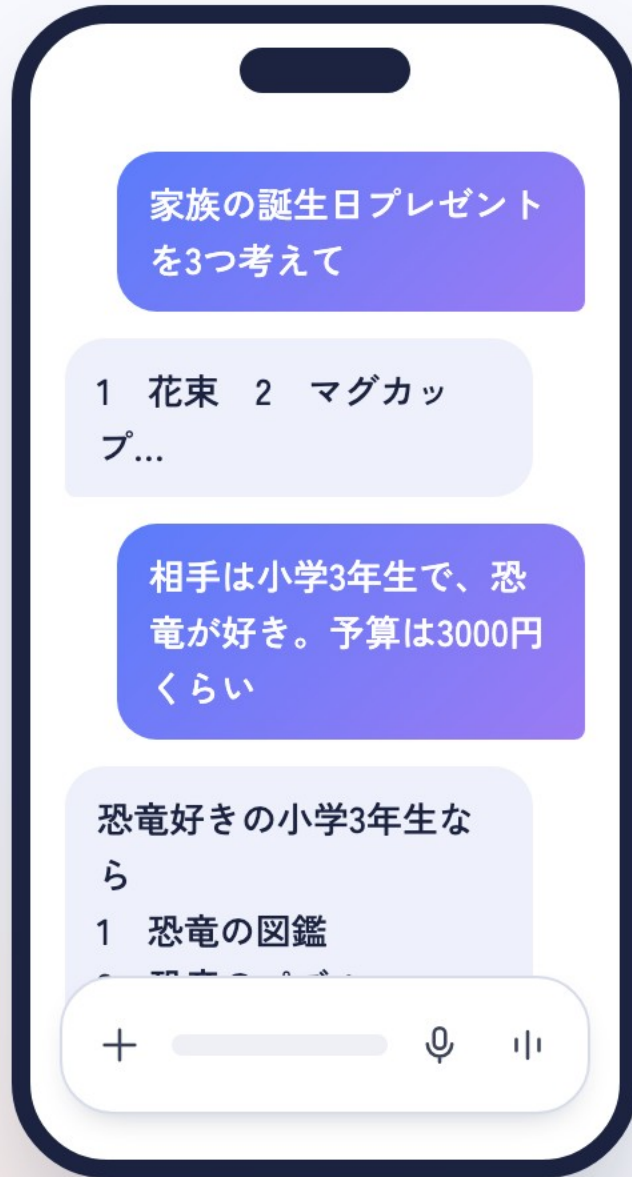
例：「相手は小学3年生で、恐竜が好き。予算は3000円くらい」

- 2 文字を確かめて、送ります

これが、コツ③「どんな事情か」です

- 3 答えが、相手に合ったものに変ったか見ます

前の話を覚えているので、続けて話すだけで通じます



その4 いっしょに コツ①「だれとして」・④「どんな形で」

役と形を、付け足す

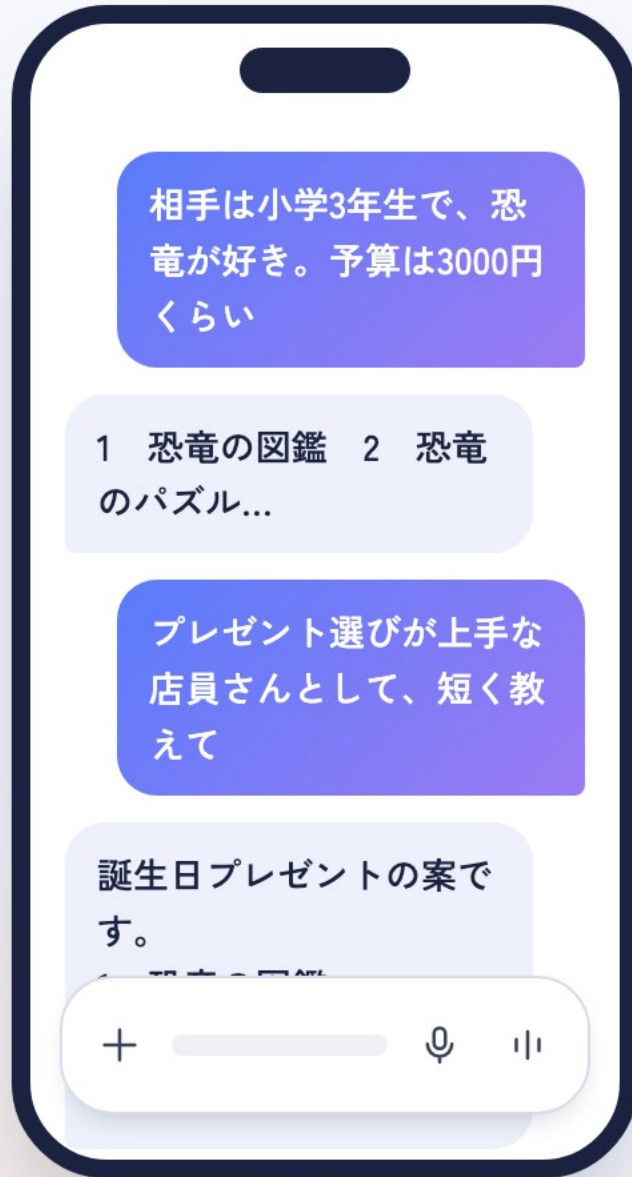
- 1 もう一度マイク  で「プレゼント選びが上手な店員さんとして、短く教えて」と話します

「店員さんとして」がコツ①、「短く」がコツ④です

- 2 文字を確かめて、送ります

- 3 答えを「読み上げ」  で聞いて、最初の答えと比べます

4つのコツが全部そろいました



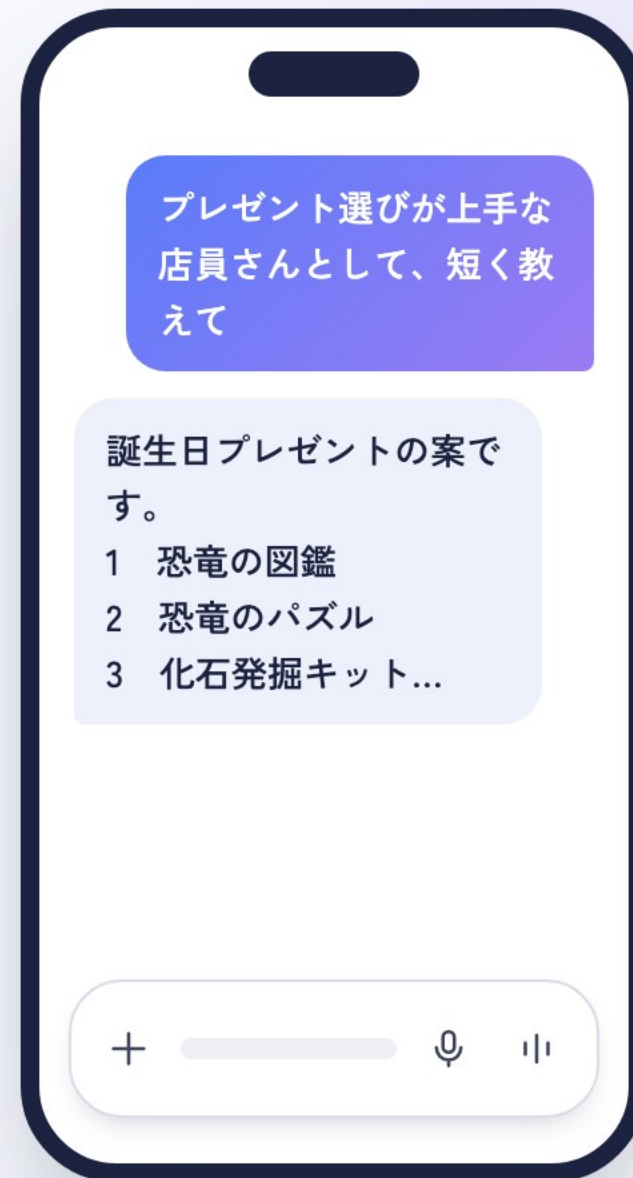
その4 できた？

声で相談する

- ✓ 短い一文から、声で付け足していった
- ✓ 付け足すたびに、答えが変わった
- ✓ 最後の答えを、読み上げで聞けた
できなくても大丈夫です



うまくいかない人は、手を挙げてください



05

その5 ここからやります

安心とまとめ

声で使うときに、
気をつけることを知ります

1 はじめに

2 音声入力で送る

3 ちがう文字を直す

4 声で相談する

5 安心とまとめ

声で使うときの、3つの注意

01

周りに聞こえます

住所・電話番号・暗証番号などは、声に出して話しません

人の多い場所では特に

02

送る前に確かめる

聞きまちがいのまま送ると、ちがう答えが返ってきます

入力欄を読んでから送信

03

答えもまちがえます

声で送っても、答えにはハルシネーションがあります。大事なことは確かめます

文字の答えで見返せます

声でも、 プロンプトは送れる

マイクで音声入力をして、文字を確かめて送ります。
答えは、読み上げで声でも聞けます。
声でも、4つのコツが使えます。

今回は「写真を見せて加工しよう」です（ChatGPT）

